



私の仕えるお方は
良家のご令嬢だ

才色兼備なしっかり者で
その大人びた振る舞いと
学業の優秀さから

学校では学年を問わず
お嬢様を慕うものは多い
…まさに完璧なお嬢様

はい

いってきます
送ってくれてありがとう

相変わらず外では
完璧だな…

いってらっしゃいませ
お嬢様

ええ

それではまた夕刻に
迎えにまいります

私の尊敬すべきお方…
そんなお嬢様の
本当の姿は…

そう
お嬢様は…

お嬢様
おはようございます

朝のご支度の
時間でございます

うう…

まだ起きたくない…
学校嫌あ…

人前では完璧でも
家では驚くほど
だらしないのだ

あと30分…

ねえ

お風呂まで運んで…

寝かせて…

食事やお風呂…基本的に
何をするにも私の手助けが
ないと何もできないし、
何もしない…

ダメです

遅刻しても
知らないですよ

非常にお世話の
しがいのあるお方
…それに

朝のお嬢様は
特に私にべったりで

えへへ…

じゃあ目が覚める
ようなこととしてよー

寝ぼけながら私を
可愛らしく誘惑
してくるのだ

お嬢様には
しっかりして
頂かないとだけど…

んっ！

もう

…少しだけ
ですよ？

そんなお嬢様の
だらしないところが
愛おしくてどんなわがままも
聞きたくなくなってしまふ…

お嬢様のご要望に全て
お応えするのが私の役目だ
…だからご満足いただけるよう
たくさんしてあげますね…

ちゅる…



んっ…
キス…して…

はい

んっ…
ちゃ

ちゅ…っ…

んっ

お嬢様の甘える姿も
色っぽく感じるお声も…

甘く蕩けた
表情も…

全て私だけが知る…
私だけが独り占めできる
幸せなひととき…

ふふ

だってお嬢様だけの
メイドですから

ここも好きでしょう？

もっとお嬢様の
全てを感じたくなる…

私の好きなどこ…
全部知ってるね…

は…

んあ…

んっ
んあ

あ…
びくえん

んっ
んあ

は…
んっ

あ…
んっ

んっ
あ…
んあ

んあ…

ちゅ…っ…
んっ

お嬢様…

そろそろ
お時間が…

少し焦らして
あげると

ふふ…
とても可愛く私のこと
求めてくれる…

ダメえ…

こんなんじゃ
満足できない…

知ってる

あゝ
ダメ…

あゝ
あゝ

あゝ

んあゝ
いく…あゝん…

んあゝ

んっ
んちや
んちや…んっ…

んん…

んあゝ

もちろん私もこれだけじゃ
満足なんてできない…
もっとめちゃくちやにしたい

びん

お嬢様

ほら...

お嬢様と私だけの
秘密のひとつき...

んっ...

あぁ
あぁ

んっ...

んっ...

この甘い誘惑に抗うこと
なんてできるわけない...
どんどん抑えられなくなる...

んっ...
もっとお...

んっ...
んっ...

んっ...
んっ...

んっ...
んっ...

はいお嬢様の
気のゆくまで...

んっ...
んっ...

んっ...
んっ...

んっ...
んっ...

んっ...
んっ...

だからもう少し...
1秒でも長く、ぎりぎりまで
お嬢様の全てを感じて
いたくなってしまう...











